

韓国ヘテ・タイガース三連覇記念球

韓国の野球は、1905年に現在のソウル市のYMCA(キリスト教青年会)で、アメリカ人宣教師のジレット氏が青年たちに伝えたのが最初だと言われています。プロ野球は1982年に始まり、今年が韓国プロ野球創設30回目のシーズンとなります。

写真のボールは、ヘテ・タイガースが3連覇を達成した1988年に作られた直径16.5cmの大きな記念球で、チームのオーナーはじめ、監督、選手のサインが印刷されています。ヘテは、光州市を本拠地として製薬会社が持っていたチームで、さらに翌年も優勝し、結局4連覇を達成しています。83年の初優勝、4連覇(86～89年)に続き、91、93、96、97年と1980、90年代に9回も優勝し強豪チームとして知られていました。その後、しばらく優勝から遠ざかっていましたが、2001年シーズン中に起亜自動車に買収され起亜タイガースとなり、2009年に12年ぶり通算10回目の優勝を果たしています。

1996～99年に中日ドラゴンズで活躍した宣銅烈(ソン・ドンヨル)投手は、韓国では1985年シーズン途中から95年までの11年間、ヘテ・タイガース一筋で、6回の優勝に貢献し、通算146勝40敗、132セーブ、奪三振1698、防御率1.20の大記録を残しており、このボールにもサインが印刷されています。

